モグラ対策の経緯(EM関連の進捗含む)

H30年10月より、NPO EM・エコ郡山に参加し、EMボカシ I 型 & II 型作り等を体験。EM培養器20Lタイプ購入し、EM活性液作り、開始。(EM発酵液作り含む) EM活性液完成後、EMボカシ II 型120kg仕込み済。(その後、EMボカシ I 型60kg仕込み含む)

H30年11月より、落ち葉を集め腐葉土作り開始。(畑2か所で合計フレコン40袋の落ち葉と発酵鶏糞15kgを合計20袋混入後、EM活性液散布し、その後、切り返し計4回実施) H30年12月より、畑2か所の表面にもみ殻合計20袋と米ぬかを散布後、さらにEM活性液散布。(4日で一巡)

比嘉教授の書籍や、ネットにより比嘉教授のレポートを、一読。(EM情報室 WEBマガジン エコ・ピュア TOP及び比嘉照夫氏の緊急提言 甦れ!食と健康と地球環境) H31年3月末に、ほぼ完成した腐葉土の嵩で半量と、ボカシⅡ型を畑2か所の表面にバラマキ、表土を**浅く**耕うん。

H31年4月初めに、北の畑にジャガイモ作付開始。その後、ジャガイモ作付エリアに、モグラ侵入の痕跡、多発。(その他エリアは、部分的に、モグラ侵入の痕跡あり)

H31年4月下旬、発酵鶏糞15kg袋に対し、EM活性液1.8L注入し、EM化した有機肥料(鶏糞30袋)作り開始。1か月程度で、臭いが大幅減少。(ボカシと混ぜ、主に追肥用)

~~~~~前年に比較し、畑の表土に、ミミズが多くなってきた状態~~~~~

令和元年5月初旬、無煙炭化器借用し、整流木炭作り、体験。(生ごみと整流木炭を混合した炭有機作りに使用)

EM・エコ郡山/七海氏の無煙炭化器を借用

令和元年5月初旬、夏菊、植え付け。6月初旬、秋菊、植え付。(各々、ビニールハウスで、挿し木した苗)

令和元年6月初旬以降、夏野菜を順次、作付開始。(各々、ビニールハウスで、種から苗作りしたもの)・・・・・苗のまわりを、マルチ代わりとして、腐葉土を、敷き詰める。

令和元年6月初旬、EMボカシⅡ型120kg仕込み済(2回目)

令和元年7月、西の畑のトウモロコシ植え付け畝部に、モグラ侵入の痕跡、多発。(根の下部が空洞となるため、都度埋め戻し実施/その他エリアは、モグラ侵入の実害なし) 令和元年7月末に、各々の畑のネット柵内側に、モグラ侵入応急対策、実施。(環状に埋設)

令和元年8月、西の畑のトウモロコシ植え付け畝部に、集中し**結界**を実施。

EM・エコ郡山/田中氏の指導を仰ぎ、整流木炭、スパーセラC、海水相当EM活性液入りのペットボトル埋設/EMによる限界突破の新局面2(モグラや鳥獣対策)を参照 状況は、結界エリアの一部をかすめる様に、モグラ穴を延伸させようと、時折ではあるが、モグラが結界エリアに侵入することあり。(EMリッチな土壌が、必須条件かな??) 令和元年8月、無煙炭化器購入し、整流木炭作り、継続。(生ごみと整流木炭を混合した炭有機及び塩と整流木炭と土を混合した整流炭団子作りに使用)

## モグラ対策関連写真

- ①畑2か所の全体写真・・・・・住居に対し、北の畑 約70坪、西の畑 約100坪/H29年イノシシ対策として、畑の外周にネット柵設置
- ②北の畑写真・・・・・・・・・・購入前から、30年以上にわたり耕作されていた畑
- ③西の畑写真その1・・・・・・購入後、H29年4月に山砂で土盛り/ダンプ10台分
- ④西の畑写真その2・・・・・・腐葉土枠(プラ製畦畔用品流用60cm×120cm/6枚)及び無煙炭化器設置個所、表示
- ⑤モグラ侵入対策品・・・・・・プラ製200穴育苗箱30cm×60cm/廃却品の再活用
- ⑥モグラ侵入対策品と埋設状態・・・・・令和元年7月末に、各々の畑のネット柵内側に、環状に埋設
- (プモグラ侵入対策品の埋設状態・・・・・各々の畑のネット柵内側に、環状に埋設/拡大)
- ⑧対策後のモグラ侵入トライ個所・・・・対策品の内側には侵入なし/侵入トライルートを戻った?!
- ⑨対策後のモグラ侵入トライ個所・・・・対策品の内側には侵入なし/モグラの穴拡大1
- ⑩対策後のモグラ侵入トライ個所・・・・・対策品の内側には侵入なし/モグラの穴拡大2

## モグラ対策後の現状(今後の予定)

令和元年7月末に、モグラ侵入対策後、新たに侵入した形跡は、現状では見つかっていないため、効果はあったと推定?!ただし、モグラがいた状態で、モグラ侵入応急対策をしたために、もともといたモグラは、出て行っていない状況。よって、もともといたモグラについては、秋野菜収穫完了後、表土全面を耕うんし、冬場に出ていくことを期待するのみ!!なお、モグラ侵入の応急対策として実施したため、プラ製廃却品を再活用し埋設。以後は、埋設品の紫外線による劣化、耐久性が心配。(結界の確実性や、EMリッチな土壌にするため、整流炭団子の埋設含めて、再検討が必要)